

一般国道50号
前橋笠懸道路

(再 評 価)

平成18年1月12日

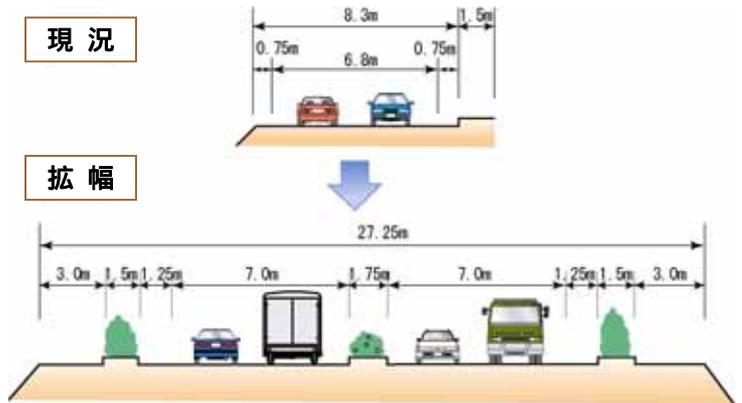
関東地方整備局

目 次

1 . 事業の目的	1
2 . 計画の概要	2
3 . 事業の経緯	3
4 . 事業の必要性	4
(1) 周辺道路の交通状況	4
(2) 周辺道路の事故状況	4
(3) 周辺地域の整備状況	5
5 . 道路整備の効果	6
(1) 交通混雑の緩和	6
(2) 安全性の向上	6
(3) 環境の改善	7
6 . 事業の進捗	8
(1) 現在の状況	8
(2) 今後の予定	8
(3) 地元の状況	8
P I 参考資料	9
7 . 費用対効果	10
8 . 今後の対応方針 (原案)	11
(1) 事業の必要性に関する視点	11
(2) 事業進捗の見込みの視点	11
(3) 対応方針	11

2 . 計 画 の 概 要

- ・ 区 間：自) 群馬県まえばし前橋市いまい今井町
至) 群馬県かさかけ笠懸町しか鹿
- ・ 計画延長：L = 12.5 km
- ・ 幅 員：W = 27.25 m
- ・ 道路規格：第3種第1級
- ・ 設計速度：80 km/h
- ・ 車 線 数：4車線
- ・ 全体事業費：約427億円



3 . 事 業 の 経 緯

- 平成 11 年度 「前橋笠懸道路（仮称）」計画概要の公表・意見募集
- 平成 13 年度 新規着工準備
住民意見を踏まえた計画案の公表（ルート決定）
- 平成 14 年度 環境影響評価方法書の公告・縦覧
- 平成 15～16 年度 環境影響評価に関わる現地調査（環境影響調査）
・ 稀少猛禽類（オオタカ）が確認されたため、「猛禽類の保護の進め方」（環境庁自然保護局）に基づく調査を実施したことから約 2 年の期間を要した。
- 平成 16 年度 住民意見反映措置説明会の開催
- 平成 17 年度 環境影響評価準備書の公告・縦覧

4. 事業の必要性

(1) 周辺道路の交通状況

当該区間には、交差点付近を中心に多数の渋滞箇所が存在します。
まえばしかさかけ
 前橋笠懸道路の整備により、こうした交差点部の渋滞解消が期待されます。

年間合計

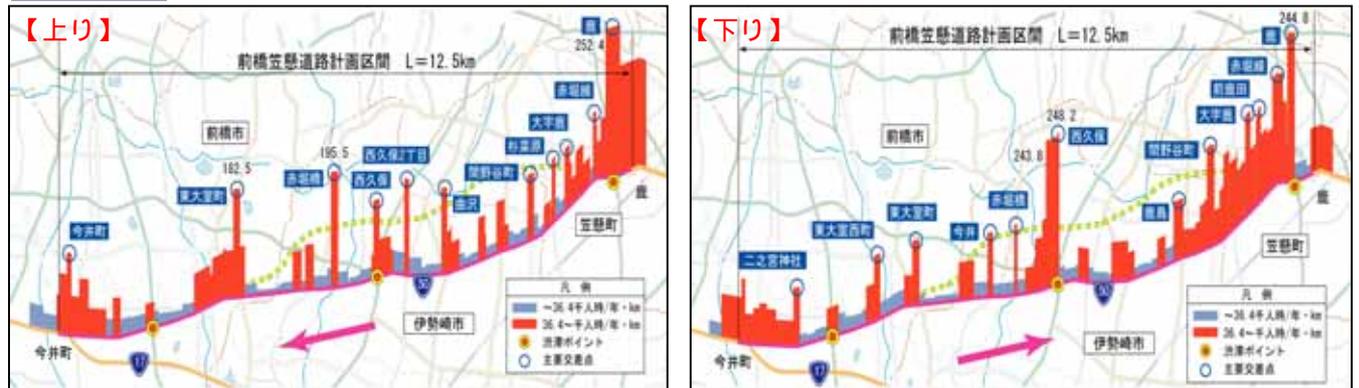


図 当該区間の渋滞状況

群馬県内直轄国道平均；36.4 千人時 / 年・km

(2) 周辺道路の事故状況

まえばしかさかけ
 前橋笠懸道路区間における交通事故率は、区間平均で 167.3 件/億台キロ、群馬県内平均と比べて約 1.5 倍、全国平均と比べると約 1.8 倍と高い状況となっています。

まえばしかさかけ
前橋笠懸道路 (前橋市今井町 ~ 笠懸町鹿)
かさかけ しか
 事故件数：197件 (H15)
 事故率：167.3件/億台キロ
 信号交差点数：25箇所 (平均500m間隔)

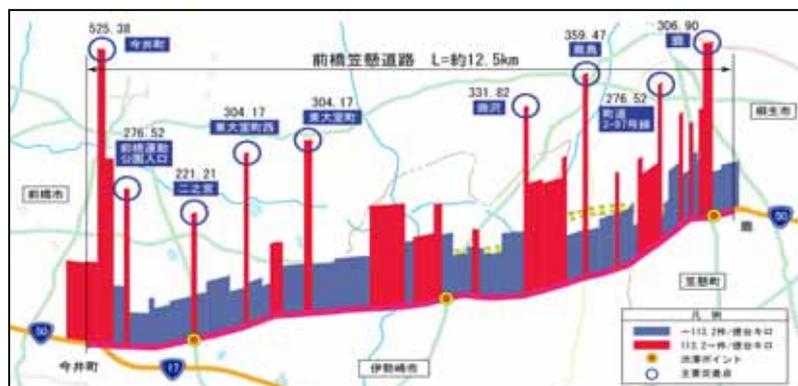


図 区間別死傷事故率

資料；H15 交通事故総合データベース

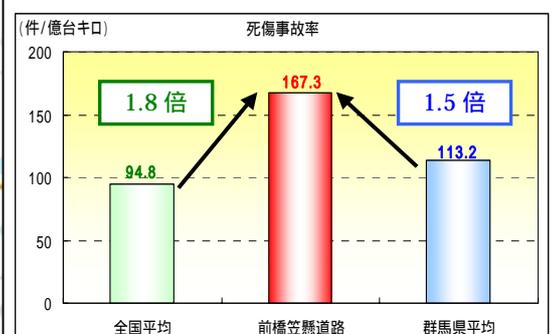
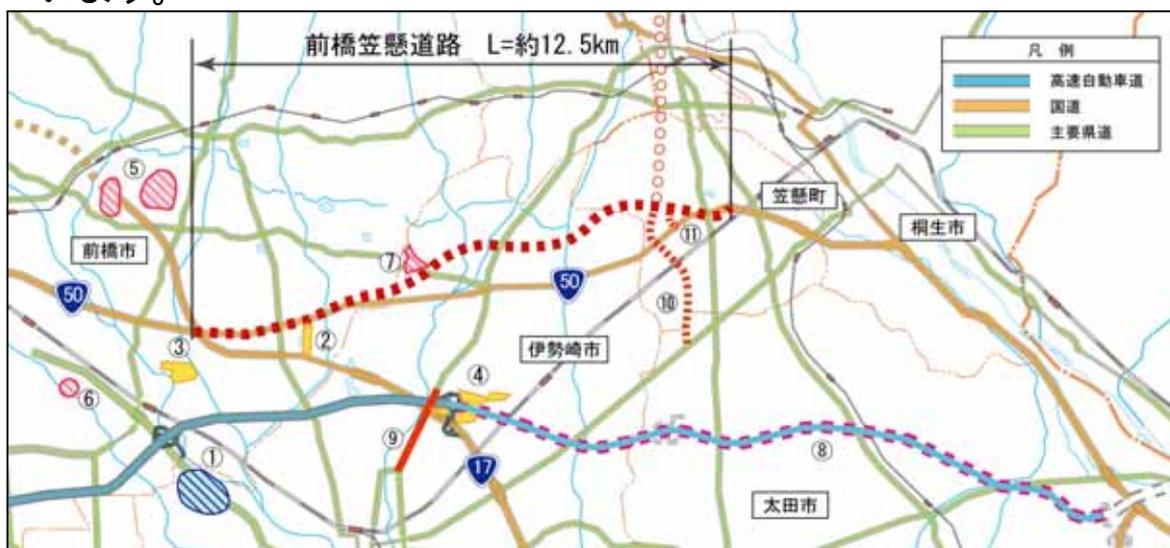


図 死傷事故率の比較

資料；H15 交通事故総合データベース
 全国平均；全国の一般国道の平均値
 群馬県平均；県内一般国道の平均値

(3) 周辺地域の整備状況

周辺地域には、多くの地域プロジェクトや道路事業が進められています。



(1) 前橋笠懸道路周辺の都市開発・整備事業 土地区画整理事業

番号	事業名	所在	面積 (ha)	事業 主体	着工又は完了年度		整備状況 区分	備考
					着工	完了		
	西部第三土地区画整理	伊勢崎市宮古町ほか	130.9	組合	57		未	99%

工業団地

番号	団地名	事業主体	所在地	団地面積 (ha)	入居 企業数	分譲開始年
	城南工業団地(再拡張)	前橋工業団地造成組合	前橋市西大室町、 飯土井町	3.8	9社	S58年10月
	上増田工業団地	前橋工業団地造成組合	前橋市上増田町、 菟井町	5.4	14社 1組合	H8年9月
	伊勢崎三和工業団地	群馬県企業局	伊勢崎市三和町	28.4	1社	H11年12月

住宅団地造成事業

番号	事業名	所在	面積 (ha)	計画 人口	事業 主体	着工又は完了年度		整備状況 区分	備考
						着工	完了		
	ローズタウン住宅団地	前橋市富田町ほか	54.9	約4,000	前公団	11	16	未	
	下大島東第二団地	前橋市下大島町	14.0	約1,100	住宅供給 公社			未	
	多田山住宅団地	前橋市東大室町、 伊勢崎市赤堀今井町 二丁目ほか	32.4		組合	57		未	

(2) 前橋笠懸道路周辺の道路事業

番号	路線名	起点～終点	延長 (km)	車線数	着工又は完了年度		整備状況 区分	備考
					着工	完了		
	北関東自動車道	伊勢崎市～太田市	16.0	4	9		計	H9年12月 施行命令
	一般国道462号 本関拡幅	伊勢崎市鹿島町～ 伊勢崎市三和町	15.0	4	8		未	47%
	笠懸西部幹線	太田市大原町～ 笠懸町大字鹿	2.9	4	-	-	未	
	天神拾四丁線	笠懸町大字鹿～ 笠懸町大字鹿	0.7	2	-	-	未	

5 . 道 路 整 備 の 効 果

(1) 交通混雑の緩和

前橋笠懸道路の整備により、前橋市今井～笠懸町鹿間の通過時間が約8分短縮（22分→14分）され、その結果、渋滞による損失時間がおよそ9割解消すると期待されます。

また、主要交差点における渋滞長や通過時間が大きく短縮され、渋滞による交通混雑の緩和が大きく期待されます。

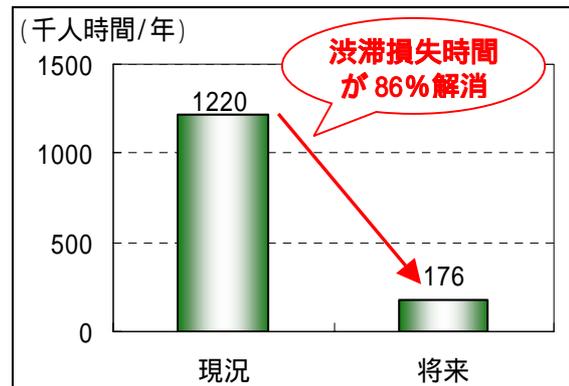
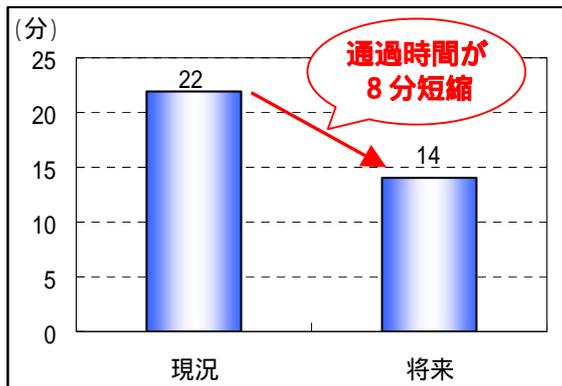


図 通過時間の改善効果 (前橋市今井～笠懸町鹿) 現況値；H16プローブ平均速度

図 渋滞損失時間の改善効果 (前橋笠懸道路区間) 現況値；H16プローブデータより算出

(2) 安全性の向上

前橋笠懸道路の整備により、交通事故が合計で年間約3割程度削減されるほか、現道部については5割以上削減され、地域の交通安全の向上が期待されます。

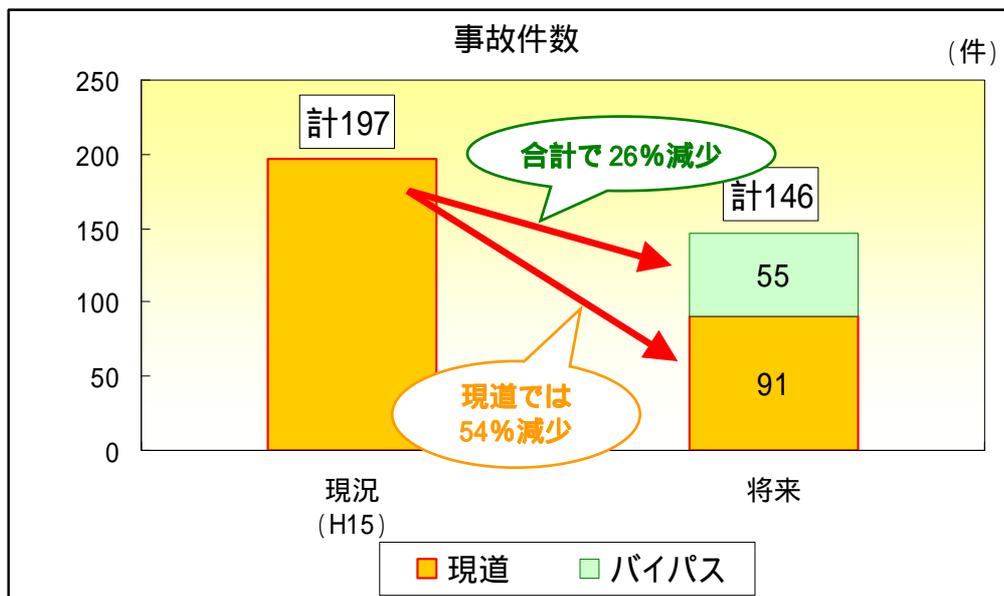


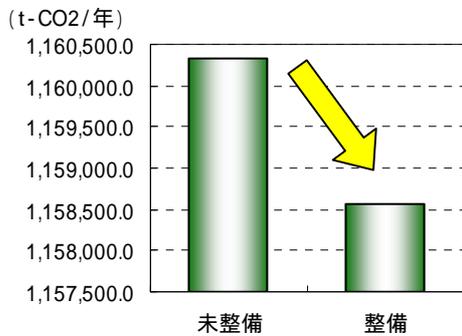
図 前橋笠懸道路区間における交通事故減少効果

(3) 環境の改善

まえばしかさがけ

前橋笠懸道路の整備により、自動車からのCO₂、NO_x、SPMの排出量が削減され、沿道環境改善と地球温暖化防止に貢献します。

【CO₂排出量】



CO₂削減量：
1,800 t / 年
(0.2%削減)

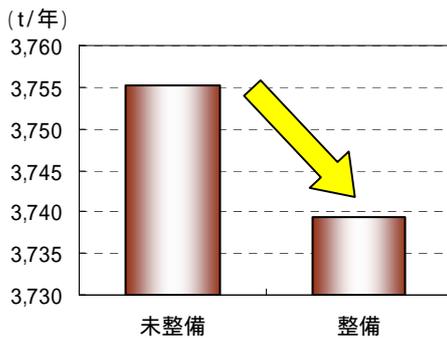
森林約168haの二酸化炭素吸収量に相当
(日比谷公園の面積(約16ha)の約11倍に相当)



(注) 植林によるCO₂吸収量は10.6 t - CO₂/ha/年とした。

出典)「土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイドンス(優良手法指針)」

【NO_x排出量】



NO_x削減量：
16 t / 年
(0.4%削減)

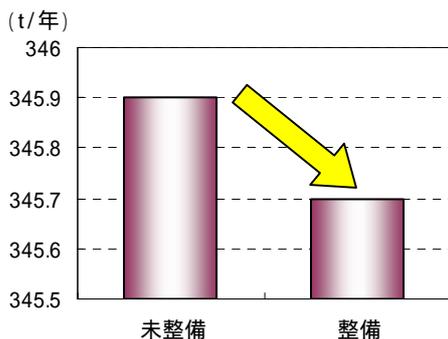
東京都を走行する大型車に
換算すると約5.2万台に相当



(注) 大型車1台が40km/hで東京都における平均走行距離を走行した場合に排出するNO_x量に換算(平均走行距離: 約70km/台、平成11年度道路交通センサス)

(NO_xの排出原単位: 4.4g/km・台、平成15年度道路政策評価通達集)

【SPM排出量】



SPM削減量：
0.2 t / 年
(0.1%削減)

ペットボトル 約2,000本に相当



(注) SPM削減量を500mlペットボトルに換算。

(SPM100g = 500ml)

出典)「東京都環境局自動車公害対策部」

CO₂、NO_x、SPM 排出量の算定範囲



6 . 事 業 の 進 捗

(1) 現在の状況

平成13年度に新規着工準備となり、平成15～16年度は、環境影響評価の手続きに基づく環境調査を実施しました。

平成16年度は、都市計画決定手続きとあわせて環境影響評価の手続きを進め、都市計画案を作成するための地元説明会を開催しました。

現在、環境影響評価の準備書の公告を平成17年9月（縦覧は10月まで）に行ったところであり、引き続き評価書の手続きとあわせて、都市計画決定に向けた手続きを進めております。

(2) 今後の予定

平成17年9月に環境影響評価の準備書の公告・縦覧及び都市計画案の公告・縦覧を実施したところであり、環境影響評価法及び都市計画法その他関係法令に則り関係市町及び住民等の意見を踏まえた環境影響評価書を作成しているところであります。

今後、評価書の内容について専門家の意見、国土交通大臣及び環境大臣の意見の反映など所定の手続きを進め、早期の都市計画決定に向け手続きを推進していきます。

(3) 地元の状況

前橋笠懸道路は、住民参加・P I方式を導入しており平成12年2月に計画概要の公表とともにアンケートによる住民の方々への意見募集を行い、結果についての公表を行っています。

PI 参考資料

【平成12年2月】計画概要の公表・第1回「意見募集」

・パンフレット・アンケート票を約16,000部配布、2,023名より回答

【平成12年4月】第1回「意見募集」結果の公表・自由意見の募集

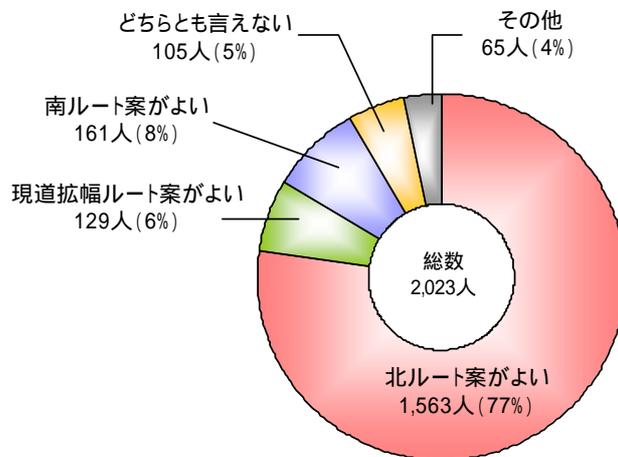
・パンフレット・アンケート結果を約16,000部配布

【平成14年2月】住民意見を踏まえた計画案の公表

・「北ルート」案に決定

前橋笠懸道路のルート

「北ルート案が良い」と8割の方が回答。



	北ルート案	現道拡幅ルート案	南ルート案
ルート案概要	前橋市内は現国道50号を拡幅し、赤堀・笠懸町内は家屋連担地帯を避け、現国道50号の北側を通過するルート	現国道50号を全線にわたって拡幅するルート	前橋市・笠懸町内はほぼ現国道50号を拡幅し、赤堀町内は家屋連担地帯を避け、現国道50号の南側を通過するルート
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■家屋の移転数が最も少ない。 ■上武道路や北関東自動車道等の幹線道路とのバランスがよく、地域全体の発展を促す。 ■バイパス部において、通過する交通と地域内の交通が分離される。 ■バイパス部において、その区間の部分的な供用や4車線のうち2車線を暫定的に供用することが可能であるため、整備効果が早期に発揮されやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■家屋の移転数が最も多く、移転に要する期間と費用が3案の中で最もかかる。 ■赤堀町の既成市街地において、通過する交通と地域内の交通が混在する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■笠懸町内の現国道50号を拡幅する区間は、家屋の移転数が多く、北ルート案より移転費用がかかる。 ■現国道50号の南側に、上武道路や北関東自動車道等の幹線道路があり、地域全体の発展にも考慮する必要がある。 ■バイパス部において、通過する交通と地域内の交通が分離される。 ■バイパス部において、その区間の部分的な供用や4車線のうち2車線を暫定的に供用することが可能であるため、整備効果が早期に発揮されやすい。

7.費用対効果

路 線 名	国道50号
事 業 名	前橋笠懸道路
延 長	12.5 km

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年における 現在価値(B)	870億円	93億円	9億円	972億円

費用

	改築費	維持管理費	合計
基準年における 現在価値(C)	271億円	34億円	305億円

算定結果

B/C	972億円(総便益)/305億円(総費用)	3.2
-----	-----------------------	-----

- 注) 1. 費用及び便益額は整数止めとする。
 2. 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

8 . 今後の対応方針（原案）

（ 1 ）事業の必要性に関する視点

一般国道50号は、北関東の内陸部から太平洋岸へ通じる東西方向唯一の主要幹線道路であり、群馬県の東毛地域の産業・文化・観光を支える重要な役割を担っております。

前橋笠懸道路は、県内唯一の2車線区間でありボトルネックによる慢性的な交通渋滞の解消による道路の利便性の向上、生活環境の改善に貢献する事業として、整備の必要性は高く位置づけられます。

（ 2 ）事業進捗の見込みの視点

平成17年9月に環境影響評価の準備書の公告・縦覧及び都市計画案の公告・縦覧を実施したところであり、引き続き環境影響評価書の手続きを進め、早期の都市計画決定に向け推進してまいります。

（ 3 ）対応方針（原案）

当事業は継続が妥当と考え、都市計画の早期決定に向け手続きを進めてまいります。

参考資料

- ・ 他の計画における事業の位置づけ

計画名	策定者	位置づけ
群馬県総合計画	群馬県	県土の均衡ある発展に向けた主要幹線道路として位置づけられている。
前橋市・大胡町・宮城村・粕川村合併まちづくり事業計画(新市建設計画)	前橋広域 市町村合併協議会	都市間の連携、連絡の強化及び均衡ある発展に向けた都市間幹線道路として位置付けられている。